

モノづくりの産業基盤を支える港湾の整備と良好な海域環境の創出

計画概要

◆計画期間

平成22年度～平成26年度(5年間)

◆計画の目標

目標①：日本経済を牽引する「愛知のモノづくり」の国際競争力を一層強化するため、物流基盤となる港湾の整備を進める。

目標②：閉鎖性水域である三河港奥部の海域環境を改善するとともに、港湾における潤いのある親水空間を創出する。

◆計画の成果目標(定量的指標)

指標①：取扱可能貨物量の増加

指標②：三河港奥部の深掘れ跡の面積削減

指標③：港湾における緑地整備面積の増加

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 港湾事業	1,078百万円	三河港御津地区の国内物流ターミナル整備、衣浦港東浦地区等の緑地整備、三河港御津地区の環境改善を実施。	46.7%
B 関連社会資本整備事業	0百万円	-	-
C 効果促進事業	0百万円	-	-
合計	1,078百万円		

※事業費は実績額

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合【事業費ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ・指標①:取扱可能貨物量の増加 ⇒ 三河港御津地区 (別紙1)
- ・指標②:三河港奥部の深掘れ跡の面積削減 ⇒ 三河港御津地区 (別紙2)
- ・指標③:港湾における緑地整備面積の増加 ⇒ 衣浦港東浦地区 (別紙3)

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①H22～26年度までに整備が完了する岸壁において、創出される取扱可能貨物量

最終目標値	20万トン	目標値と実績値に差が出た要因	厳しい財政状況の中で予算確保ができなかったが、整備は着実に進め平成29年度完成予定である。
最終実績値	0万トン		

指標②H26までに完了する深掘れ跡の面積削減率

= $\frac{\text{深掘れ跡の削減面積}}{\text{優先的に対策を実施する面積(103.0ha)}}$

最終目標値	51%	目標値と実績値に差が出た要因	近隣浚渫事業で発生する土砂を利用して覆砂を行う事業であるが、浚渫事業の遅れに伴い覆砂事業も遅れた
最終実績値	49%		

指標③H22～26年度までに整備する港湾緑地の整備率

= $\frac{\text{整備緑地面積}}{\text{整備計画緑地面積(8.1ha)}}$

最終目標値	36%	目標値と実績値に差が出た要因	厳しい財政状況の中で予算確保ができなかったが、選択と集中を行うことで一部供用開始することができた。
最終実績値	27%		

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

特になし

◆今後の方針

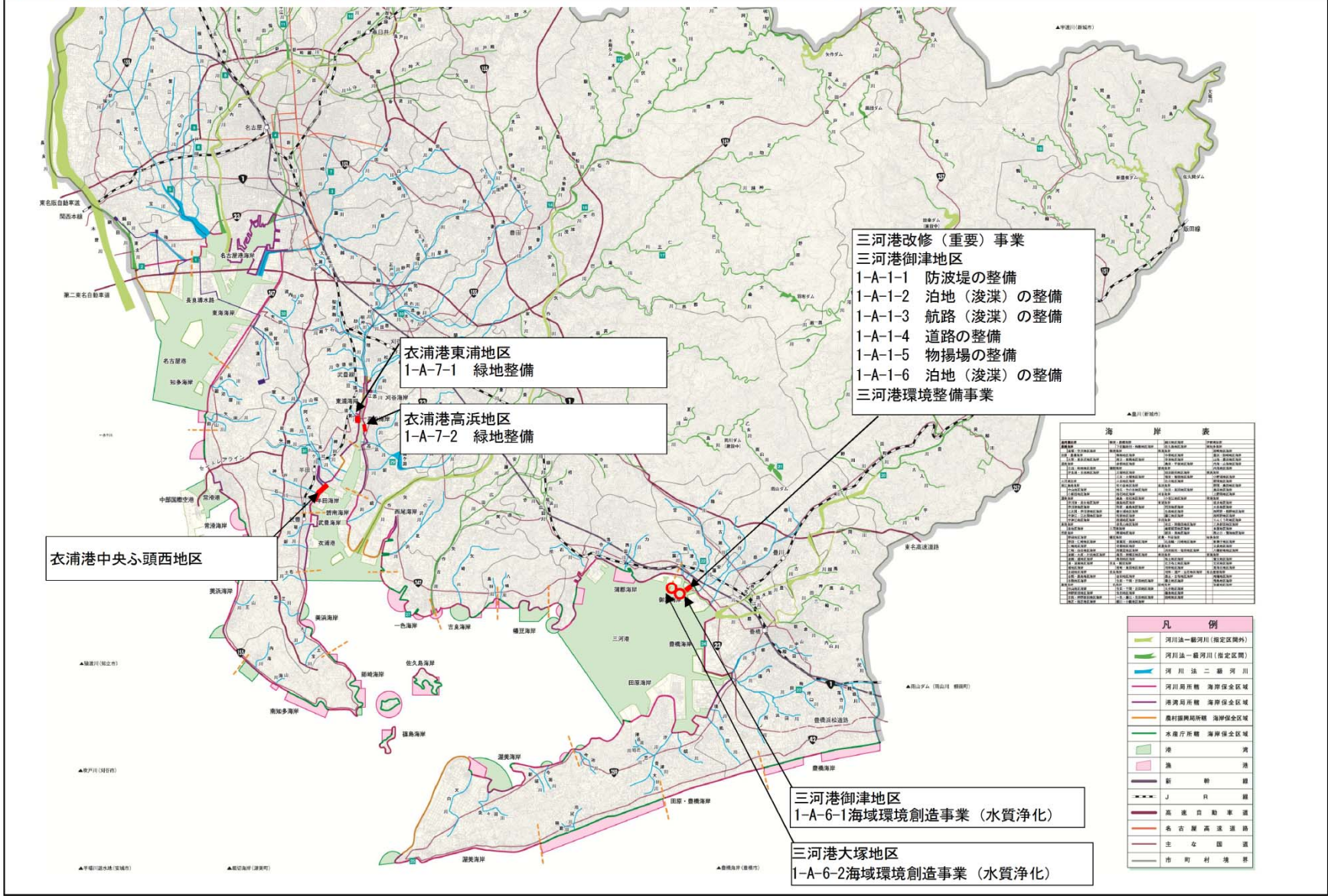
- ・日本経済を牽引する「愛知のモノづくり」の国際競争力を一層強化するため、H27年度から新たな計画を位置付け物流基盤となる港湾の整備を推進する。
- ・閉鎖性水域である三河港奥部の海域環境を改善するとともに、港湾における潤いのある親水空間を創出するため、H27年度から新たな計画を位置付け整備を推進する。
- ・未完了の事業については、早期整備完了を目指す。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	策定主体にて評価を実施。
事後評価の実施時期	平成29年3月
公表の方法	WEBページ公開 (http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kowan/0000042594.html)

参考図面

計画の名称 **モノづくりの産業基盤を支える港湾の整備と良好な海域環境の創出**
 計画の期間 **平成22年度～平成26年度(5年間)** 交付対象 **愛知県、田原市、南知多町**



【基幹事業】

■事業名

海域環境創造事業(三河港御津地区)

■工事概要

三河港御津地区は三河港の中央に位置する臨海工業地区である。当地区内では港湾施設が未整備で、立地企業からは原材料・製品の搬出入について、長距離陸上輸送及び他港等の利用により物流コストや輸送時間のロスを改善する、「物流の効率化」への強い要望がある。こうした状況に対応するため、平成7年度より物流の効率化を目的とした国内物流ターミナル(岸壁-5.5m)の整備を行うものである。併せて、港内作業の効率化を推進するため、当該作業船等の小型船だまり(物揚場-3.5m)の整備を行うものである。

■事業箇所

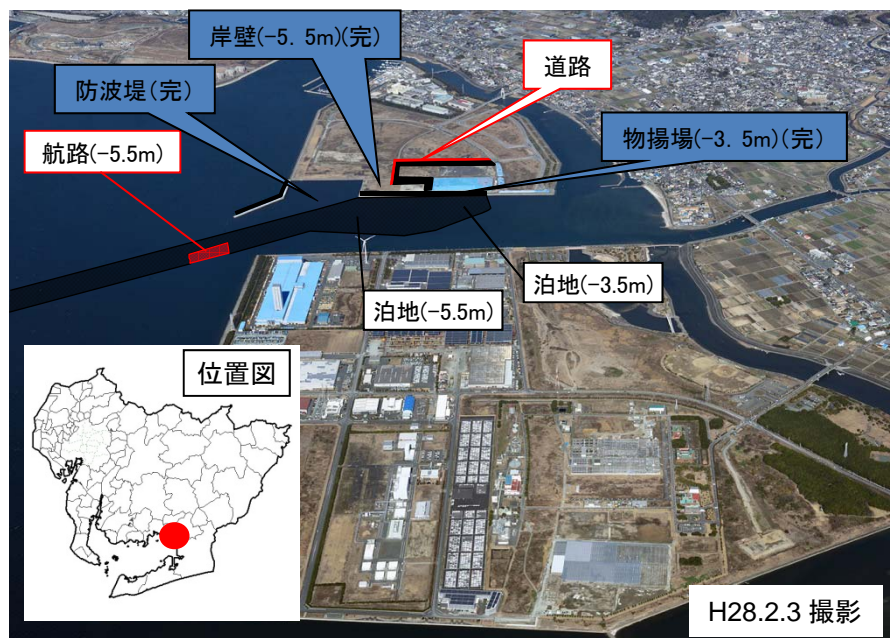
豊川市御津町地内

■事業主体

愛知県

■事業効果

予算措置により道路及び航路の完成が遅れており供用を開始できていない状況であり、事業効果を発現できていないが、平成29年度には道路及び航路の完成し、事業効果が発現する見込みである。



【基幹事業】

■事業名

国内物流ターミナル整備事業(三河港御津地区)

■工事概要

三河港御津地区は、港口部の狭い三河湾の奥部に位置して、閉鎖性の強い水域となっていることと、周辺の海域の開発により地区周辺の海域の水質が悪化しており、赤潮が発生する原因となっている。また過去の埋立事業による採土浚渫の結果生じた深掘れ箇所があり、苦潮が発生する原因となっている。そこで、この深掘れ箇所に近隣の御津航路の浚渫で発生する土砂を用いて覆砂を行うことにより底質・水質浄化の促進を図る。

■事業箇所

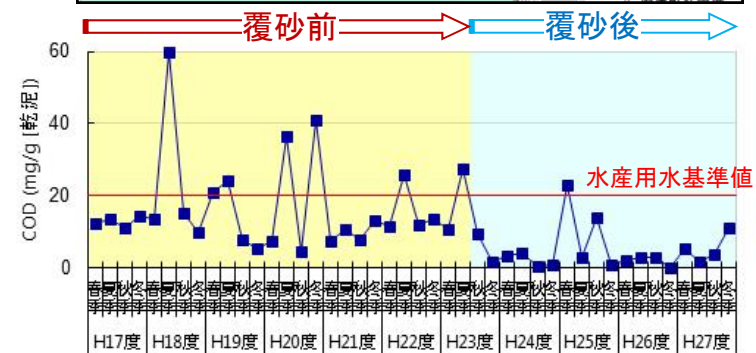
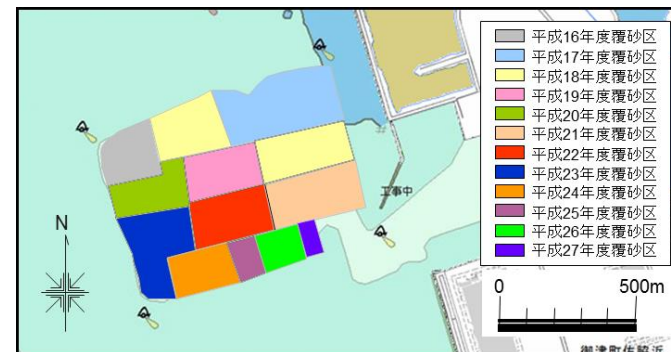
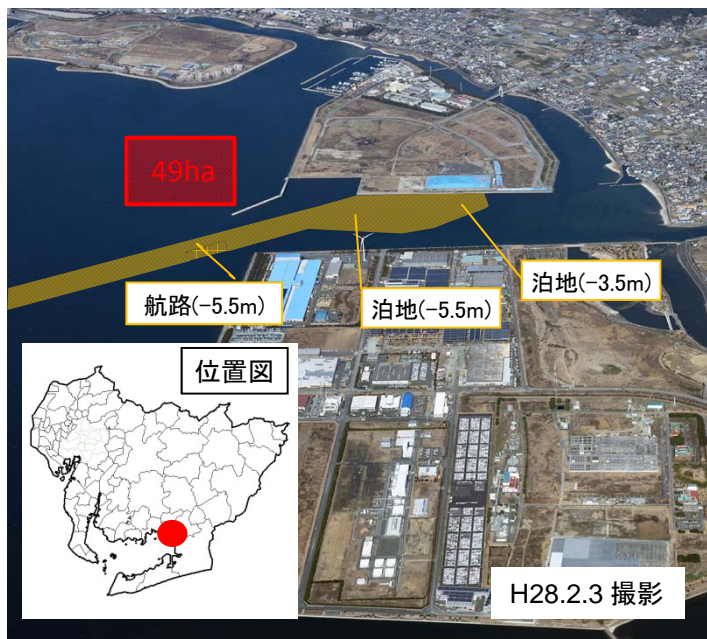
豊川市御津町地先

■事業主体

愛知県

■事業効果

御津航路の浚渫に伴う発生土砂を用いて覆砂を行い、一定の水質改善効果が得られた。



【基幹事業】**■事業名**

港湾環境整備事業(衣浦港東浦地区)

■工事概要

衣浦港東浦地区は、衣浦港の湾奥部に位置し、古くには対岸の高浜地区との人の移動・交流のための渡し船「藤江の渡し」が頻繁に往来するなど、海が地域住民にとって大いに親しまれていた地域である。しかし、当該地域は、伊勢湾台風後に築造された堤防により、地域生活と隔絶され、地域住民が海へ近づけない状況になっている。本事業は、地域住民の交流・憩いの場や海洋性レクリエーション機会を創出すると共に、対岸の高浜地区の住民に対する修景改善を提供することを目的として整備するものである。

■事業箇所

東浦町地内

■事業主体

愛知県

■事業効果

平成27年7月に多目的広場の一部供用を開始し、地域住民の交流・憩いの場としての役割を果たしている。



多目的広場の休日の利用率はほぼ100%(予約率)となっている。